

2015年度 前期				リフレクションペーパー			
学科名	生物環境化学科						
科目名	物理化学Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	必修科目						
担当者	荒川 剛						
授業の到達目標 (シラバスから)	・自由エネルギーの意味を理解できる。 ・種々の反応の自由エネルギー変化を計算できる。 ・自由エネルギー変化と化学平衡の関係を説明できる。 ・化学平衡における規則性を理解できる。 ・化学反応の速度に見られる規則性を理解できる。						
日程と内容	第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、自由エネルギーと化学平衡、反応速度について。 第2回：エネルギーとエントロピー 第3回：自由エネルギーとは何だろう 第4回：化学反応に対する熱力学計算；尿素生成の自由エネルギー、グルコースの酸化に対する自由エネルギー変化 第5回：化学反応に対する熱力学計算；相変化に対する自由エネルギー変化 第6回：自由エネルギーと化学平衡；平衡は自由エネルギーで決まる 第7回：平衡系の定量的な取り扱い；化学平衡式と平衡定数 第8回：相平衡と状態図；相律、気液平衡と蒸留 第9回：授業中に課した問題の解説と自由エネルギーと化学平衡のまとめ 第10回：化学反応の速度；現象論的取り扱い 第11回：反応速度の測定(1) 第12回：反応速度の測定(2) 第13回：遷移状態と活性化エネルギー 第14回：酵素反応について 第15回：授業中に課した問題の解説とこれまでのまとめ 定期試験						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	20%	計				100%
授業到達目標の達成度	おおむね達成できた。						
反省点	今年は、休講にしなければならないことが多く、学生の抗議に対する集中度をそいだ感がある。						
来年度の計画	来年度は、新任の教員に講義をやって頂く。授業計画はほぼ同じ内容で行う。						
授業評価アンケートに対するコメント	講義では、演習を入れながら進めているが、理解度を確かめながら進めることができず、講義内容に対する理解が十分でないことに対する不満が多かった。						
履修登録者数	76 名	定期試験 受験者数	76 名	合格者数	73 名	合格率	96%